

千代松大耕プロフィール

1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
 1986.3 泉佐野市立第一小学校 卒業
 1989.3 泉佐野市立佐野中学校 卒業
 1992.3 同志社香里高等学校 卒業
 1996.3 同志社大学経済学部 卒業
 1998.7 米国Lincoln University大学院 修了
 2003.3 大阪府立大学大学院 修了
 2005.3 和歌山大学大学院 修了

1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
 2000.2 泉佐野市議会議員 初当選
 2002.5 泉佐野市議会議員 2期目当選

(議会)
 2003.3 予算特別委員長
 2003.5 市町村合併検討委員長
 2004.5 第61代副議長
 2005.5 厚生文教委員長

(現在) (社)泉佐野青年会議所 監事
 (NPO)大阪夢づくり協議会 理事
 泉佐野市バレーボール連盟 会長
 泉佐野市柔道連盟 理事
 佐野中校区青少年指導員会 幹事長
 泉佐野市交通指導員
 泉佐野市私立幼稚園連合会 顧問
 泉佐野青空市場活魚協同組合 顧問
 (社)全国自衛隊父兄会泉南支部 顧問
 同志社大学体育会アメフト部OB会 常任理事
 看護を考える市町村議員の会 副幹事長
 自由民主党泉佐野支部政務調査会長



千代松大耕メールマガジン 「千代松大耕のニュースレター」を発行しています!

市政や議会の情報をいち早く市民のみなさまに、お伝えするためにメールマガジンを発行しております。(週に3~4回は、発行しています)メルマガの登録は、千代松大耕のホームページ、または下記アドレスからできます。ひとりでも多くの方に登録していただければ幸いです。

ホームページアドレス: <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>
 登録ページアドレス: <http://www.mag2.com/m/0000156662.html>

*検索サイトで「千代松大耕」と検索していただければ、私のホームページにヒットします。
 また、携帯電話のメールアドレスは登録できません。

千代松大耕を育てる会 入会募集中!!

〒598-0045 泉佐野市松原 2-5-31
 TEL 0724-58-1708 FAX 0724-64-9478
 E-mail: chiyo51@hotmail.com
 ホームページ: <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>
 ボランティアスタッフ募集中

「かけはし」開催しています!

千代松大耕が市民のみなさまと市政をつなぐ架け橋となるため、市政懇話会「かけはし」を月に一度「第四木曜日」に開催しています。どなたの参加もOKです。お待ちしております!

場所: 泉の森ホール
 2F 小会議室

時間: 19:30~20:30

参加費: 無 料

「千代松大耕を育てる会」規約(抜粋)

名称 本会は千代松大耕を育てる会と称します。
 目的 本会は千代松大耕の活動を支援し、市民生活の向上と地域、社会の発展に寄与することを目的とします。
 事業 本会は目的を達成するため、必要な事業をおこないます。
 事務所 本会の本部は泉佐野市松原2-5-31におきます。
 経費 本会の経費は寄付金その他をもってあてます。

発行部数累計 526,500部

活動報告「まちのスケッチブック」のバックナンバーが必要な方は、ご連絡下さい。



変わらぬ挑戦。
 進化する改革。

まちのスケッチブック 第41号
泉佐野発→日本一の「ひとづくり」のまちへ



ちよまつ ひろやす
 泉佐野市議会議員 千代松 大耕
 (32歳)

進化するマニフェスト

千代松大耕の4年間と新たな挑戦

Pol. 1

「新しい時代の21世紀型行財政システムの確立」

(2002) 行政評価システム、バランスシート、環境 ISO-14001 などの導入や情報化を積極的に図り、新しい時代の行財政システムを構築します。また市町村合併を見据えた広域行政を推進し、関西空港と一体となったまちづくりに取り組みます。



(2006) 行政評価システム、バランスシートは導入が実現しました。今後は対費用効果を意識した行政運営のための有効活用を図ります。3市2町の合併は、合併協議会の一員として積極的に推進しましたが、他の市町の住民投票によって破綻しました。しかし合併論議は近い将来必ず再燃します。そのときに向けた広域行政と、そして2期事業が完了する関西国際空港と一体となったまちづくりをさらに推進します。

Pol. 2

「新規産業の育成・誘致と地元産業・商業の振興」

(2002) 新しい時代の経済活性化の原動力となると言われているベンチャー企業を育成・誘致する制度を確立するとともに、歴史のある地元産業・商業・観光スポットの振興に力を尽くし関西空港の玄関口にふさわしいまちづくりを実現します。



(2006) りんくうタウンへの産業集積促進条例の制定、そして拡充はされましたが、地元産業・商業の振興は、財政健全化計画のもとで厳しい状況にあります。南海泉佐野駅高架化の効果を活かした市街地を中心とした新しい賑わいづくり、また青空市場や犬鳴山を中心とした観光振興を今後も推進するとともに、新たに創設された観光ボランティア協会の充実に努めます。

Pol. 3

「泉佐野市の教育を抜本的に変革」

(2002) 泉佐野市をこれから背負って立つ世代の健全なる育成のために、戦後教育を根本から見直して、新しい時代の骨太の教育に改めていきます。また歪な通学区の再編、老朽化した学校施設の改善、教育委員会改革に努めます。



(2006) 一部の地域で通学区の弾力化を進めました。財政健全化計画のもとでも老朽化した学校施設の改善は進んでいます。今後も老朽化した学校施設の改善を進めます。全国的な課題である児童の安全確保・青少年の健全育成に対して、地域の方々と問題点や課題を共有できる議員として教育改革に努めます。また、人間形成の根幹である幼児教育の充実に努めます。

Pol. 4

「バリアフリーを目指したまちづくり」

(2002) 公共施設等のバリアフリー化を推進し、高齢の方々や障害をもつ方々が安心して暮らせる、やさしいまちづくりを進めていきます。また世代間等の垣根を越えてふれあうことが出来るスポーツ・催しを振興することで地域の活性化に取り組みます。



(2006) 市営住宅の建替えにおいてバリアフリーがかなり進みました。今後も公共施設の改修ではバリアフリーが進みます。しかし財政難のもとで十分に進んでおりません。バリアフリーのやさしいまちづくりをさらに求めています。この4年間で様々な垣根を越えて「ふれあう」ことが出来るイベントに数多く参加しました。その経験をもとに「ふれあい」から始まる地域活性化を推進します。

Pol. 5

「りんくうタウンを世界に発信！」

(2002) 泉佐野市の財政難の大きな要因としてりんくうタウンの未成熟が挙げられます。りんくうタウンに“大学”等の人が恒久的に集まる施設を誘致して、産・官・学が一体となったまちづくりによる活性化を図るとともに、起爆剤的なイベントを誘致し、りんくうタウンを世界に発信します。



(2006) 航空保安大学のりんくうタウンへの移転が決定しました。2002年の12月議会では、自由民主党が提出した府立大学大学院誘致の意見書が採択されました。今後も人が恒久的に集まる施設や「ひとづくり」に大きく寄与する教育機関の誘致はりんくうタウンの活性化には必要であります。またりんくうタウンを世界に発信できるイベントの誘致に向けてNPO活動を続けていきます。

Pol. 6

「市民参画と開かれた政治の実現」

(2002) 多様化する行政ニーズに応えるために、「パブリックコメント制度」や「市民公募」などの政策決定に反映出来る市民参画をすすめ、市民・行政・議会が一体となってまちづくりを行える体制づくりやネットワークの構築を目指します。また議員の義務として議会情報を積極的に開示し、市民の方々への説明責任を果たします。



(2006) 議員としての議会・活動報告は「まちのスケッチブック」、「ホームページ」、「メールマガジン千代松大耕のニュースレター」で行なっています。そして「市民と行政の架け橋」となるように月に一度、市政懇話会「かけはし」を開催しています。これらは千代松大耕の議員活動の原点です。このスタイルは必ず続けます。また「パブリックコメント制度」は近い将来導入が実現します。

NEW!
Pol. 7

「環境から考える未来の泉佐野」

国際都市にふさわしい環境インフラ整備のために下水道の普及率向上に努めます。そしてゴミ減量化策を推進し、未来の泉佐野に「負の遺産」を残さないための環境システムを構築します。また財政健全化計画終了後に環境 ISO-14001 の導入を目指し、環境への意識改革を推進します。

NEW!
Pol. 10

「市民とともに・・・議会改革」

この4年間で泉佐野市議会は、あらゆる視察の廃止・休止、議員報酬カット、議員定数削減を行ないました。今後も市民の方々を十分に受け止め、市民の方々とともに歩むための議会改革を行ないます。また市議会を市民の方々にとってよりわかりやすく、身近なものとなるように「市議会だより」「市議会ホームページ」の充実を図ります。

NEW!
Pol. 8

「市民の貴重な財産の有効活用」

整備された社会教育施設は泉佐野市民の貴重な財産であり「ひとづくり」の拠点であります。しかし現在、財政健全化計画のもとで社会教育施設は市民の方々にとって利用しやすい状況にはありません。計画終了後には開館日や利用時間の増など、今まで以上に市民の方々から有効活用できるような方策を導き出します。

NEW!
Pol. 11

「国際化と地域に根ざした学校教育」

国際空港の直近のまちであり、橋を渡れば「世界が広がっている」という利点を活かし、世界に通用する人材を育成していくべきです。国際交流・国際理解のための教育を推進します。また全小学校の図書室にはクーラーが設置されました。今後は中学校の図書室にクーラーを設置するなど地域交流の場となる学校施設の充実に努めます。

NEW!
Pol. 9

「地方分権時代の小さな行政」

「地方でできることは地方にまかす」という地方分権時代にあって、足腰の強い行財政運営を維持していくには、可能な限り行政のスリム化を図る必要があります。「民間でできることは民間にまかす」としてあらゆる施設での指定管理者制度の実施やあらゆる分野での民営化を検討、推し進めて「小さな行政」の確立を推進します。

NEW!
Pol. 12

「泉佐野発」日本一のひとづくりのまち

これからの泉佐野を考えたとき、大規模な「ハコモノ」に投資をする時代は終わったかと思えます。これからは「ひと」に投資する時代を迎えなければなりません。「ひとづくり」は「まちづくり」の根幹であります。「日本一のひとづくりのまち」を泉佐野市から発信できるように、実現できるように、千代松大耕は挑戦しつづけます！